

意見募集結果(令和7年11月4日～18日)

No.	意見概要	市の対応
1	令和7年10月1日に発生した大雨による浸水について、そのときの浸水発生箇所及び土地の高低差を更新したマップ等を市内に配布していただきたい。また、浸水しないような対策(水はけの良い道路や高い排水システムなど)をより強めていく必要があるのではないかな。	この度は、第六次多賀城市総合計画後期基本計画に関する意見募集に御協力いただき、誠にありがとうございました。 皆様からいただいた御意見や御提案、御指摘につきましては、後期基本計画に直接反映させることが難しいものもございますが、第六次多賀城市総合計画の将来都市像実現や後期基本計画に掲げる目標達成のために、いずれも重要な示唆を与えていただいたものと認識しております。 後期基本計画の中で今後展開していく様々な事務事業において、有効に反映できるよう取り組んでまいります。
2	土砂災害指定区域に隣接居住している住民に対し、避難以外の根本的対応策のアドバイス、所有者(地権者)に対する改善指導等を実施していただきたい。	
3	施策2-2「健康づくりの推進」の個別計画の中に「多賀城市自殺対策計画」が含まれているが、「健康づくりの推進」の括りの中に自殺対策計画が含まれていることに違和感がある。肉体的健康にフォーカスを合わせているものと読み取れる政策2-2「健康づくりの推進」とは切り離し、別の基本事業として掲げるべき。 また、自治体により「自殺対策計画」と「自死対策計画」と、語彙の表記の仕方が分かれている。それぞれの表記の仕方に賛否、様々な考え方があがるが、「自死」と表記されるべきではないか。 「多賀城市自殺対策計画」は、平成31年に策定されたものが現在も踏襲されている。県は、従前の「宮城県自殺対策計画」を、令和6年3月に見直し、現在の「宮城県自死対策計画」を策定している。現在の社会情勢に合わせて「多賀城市自殺対策計画」もアップデートされるべきと考える。	
4	施策2-4「高齢者福祉の推進」の指標に「健康寿命」を掲げており、基本事業02-04-02「介護予防・フレイル予防の推進」が、基本事業の構成の一つに挙げられているが、健康寿命の延伸に取り組んでくださっている食生活改善推進員に係る具体的な指標を設けた取組をすべく、「介護予防・フレイル予防の推進」と同列の基本事業として、「食生活改善の推進」を掲げてはどうか。	
5	雨の日や暑い夏でも子どもが安心して体を動かせる室内の遊び場(室内遊具のある施設)がほしい。外で遊べない日が続くと子どもがストレスを感じやすいため、天候に関係なく利用できる場所があると助かる。	
6	障害児を育てている保護者同志で意見交換や、相談できる人との集まりのようなものがあると良い。施策2-5「障害者(児)福祉の推進」は、いずれも障害者・障害児の救済・支援を目的にしたものと読み取れるが、障害者の家族、障害児の保護者の救済・支援も必要であると感じる。基本事業として「障害者(児)の家族・保護者支援の推進」を追加してはどうか。	
7	スクールカウンセラーが少なく、常駐ではないため、相談日が保護者の希望どおりになっていないと聞いている。カウンセラーをもっと増やせないか。 また、不登校児童に対して本人への接触を多くするために、心理学にたけた学生等を参加させる産学共同システムを協定してはどうか。積極的に進めている自治体との意見交換で、教育現場に携わる方、保護者の認識を強化する必要がある。	
8	基本事業04-01-03「ゼロカーボンの推進」の具体的な施策の一つとして、市で管理する庁舎、コミュニティ施設、小中学校のZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化を目指すべく、まずは、ZEBプランナーなどの有識者を招き、ZEB診断を行った上で、あおの診断結果を数値で「見える化」し、基本事業の指標に定めてはどうか。 ZEB診断の結果が具体的に示される事により、将来への計画が具体的に立案できるようになり、小中学校長寿命化計画等へ反映される事により、より実効のある基本事業となり、持続可能な市であることを、広く市内・市外へアピールできるものとする。	
9	桜木あたりから駅までの歩道がガタガタであるため、歩く人たちの目線で整備をしていただきたい。	
10	かつては商売を行っていたけれど、現在は廃業ないし閉店している個人商店が、少なからず存在している。これらのシャッターが下りている店舗で、再びシャッターが開けられる事も、地域経済の持続的発展に必要な事であると考え。については、廃業ないし休業・閉店している店舗に限定して、商売の再開を促す「再創業」・「再起業」支援の制度を新たに設け、新規の創業・起業支援とは別のものとして取り組むべく、「再起業・再挑戦を促す機運の醸成」を基本事業として追加してはどうか。	
11	現在、日本全国で増えているボランティア活動の一つに「こども食堂」「大人食堂」がある。この数は、増えていることが必ずしも豊かな社会である事を示していない経済指標であると考え。が、「こども食堂」や「大人食堂」の数や動向を把握し、必要な支援を行うことが、長引く経済不況・物価高の中で、喫緊の課題と考える。施策6-2に「こども食堂・大人食堂の支援」として、基本事業を追加してはどうか。取り組みたい強い意志とスキルはあるけど、実現できていないボランティアを、市として支援・救済することも、市の取組として必要であるとする。	
12	昨今の多賀城市のイベントを拝見し、とてもセンスもよく他市町村よりもいい内容だと感じている。このイベントをもっと他の市町村からも募集をして、多賀城市の魅力を知ってもらおうきっかけにしていただきたい。 また、長期的な市の発展を考えると教育の質を向上させてはどうか。質の高い教育は、高納税者を呼び込むことができると考える。せっかく多賀城市図書館もあるので、歴史とアート、学びの多賀城を目指したらどうか。	
13	意見募集となっているが、基本計画の何に対しての意見を求められているのか分からない。意見の提出方法も、簡単にできるようにしてほしい。	